

ホームにおける新型コロナウイルス感染防止対策に関する 緊急アンケート集計結果 報告

2020 年 7 月



【概要】

会員ホームにおける新型コロナウイルス感染防止対策(特に家族の面会)の実態把握を行うため、6/30 付で FAX により調査を行った。

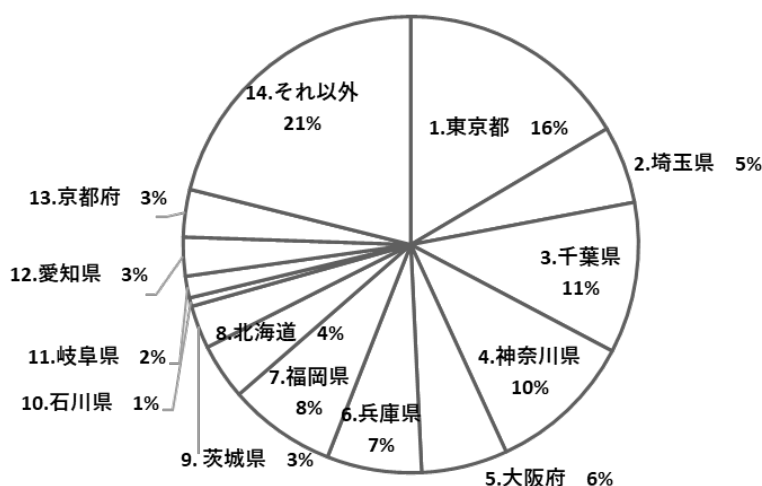
【回答有効数】 230 件(回収率 56%)

【回答事業者のホーム所在地】

回答事業者の主なホーム所在地を第 1 次緊急事態宣言発令地域、第 2 次緊急事態宣言発令地域とそれ以外で分けて調査したところ、下記の通りとなった。

4/7 付緊急事態宣言発令地域							5/14 付緊急事態宣言発令地域						
1. 東京都	2. 埼玉県	3. 千葉県	4. 神奈川県	5. 大阪府	6. 兵庫県	7. 福岡県	8. 北海道	9. 茨城県	10. 石川県	11. 岐阜県	12. 愛知県	13. 京都府	14. 左記以外
54	18	35	34	20	22	25	13	10	2	5	9	11	69

※会員会社運営ホームの所在地に関する回答のため、回答有効数とは一致しない。(N=327)



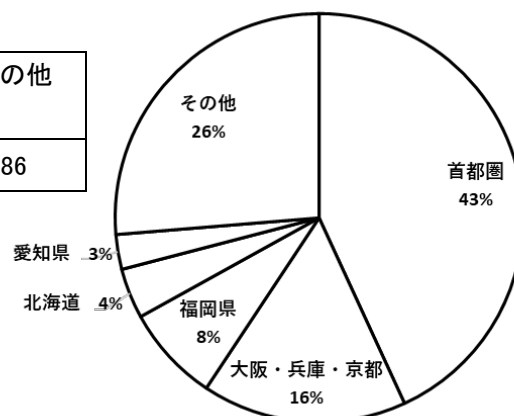
県単位では、母数が少ないため、下記の 6 エリアで分けた。

首都圏	大阪・兵庫・京都	福岡県	北海道	愛知県	その他
141	53	25	13	9	86

※首都圏＝東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県

上記より、回答法人のホーム所在地は

首都圏 43% 大阪・兵庫・京都 16% 福岡県 8%であった。

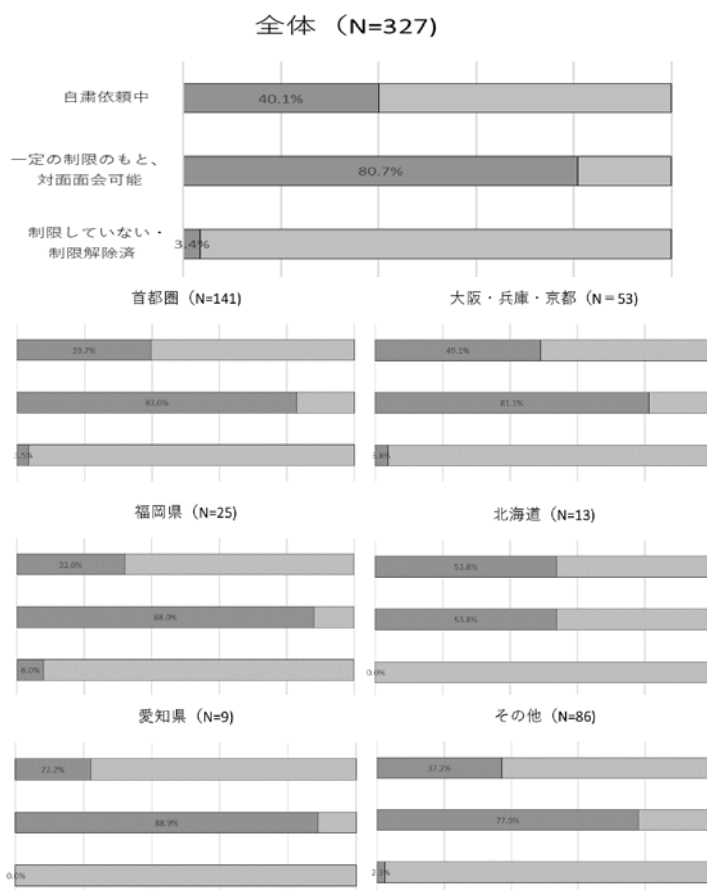


【面会の実施状況】

エリア単位で、「自粛依頼」・「一定の制限のもと、対面面会可能」・「制限していない」を分けたが、母数の少ない北海道・愛知エリア以外で大きな違いは見られなかった。全体として、対面での面会を可能とする事業者が 80.7%ある一方、自粛依頼中とする事業者は 40%あった。

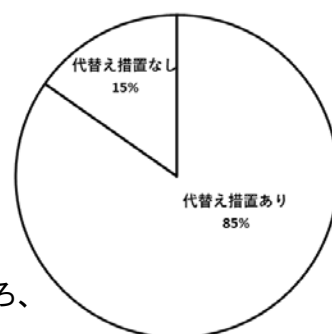
※回答には、自粛依頼は行うものの、対面での面会も行うところもある為、複数回答可能としている。

	自粛 依頼中	一定の制限 のもと、対面 面会可能	制限してい ない・制限解除 済
全体	131 40.1%	264 80.7%	11 3.4%
首都圏	56 39.7%	117 83.0%	5 3.5%
大阪・兵庫 ・京都	26 49.1%	43 81.1%	2 3.8%
福岡県	8 32.0%	22 88.0%	2 8.0%
北海道	7 53.8%	7 53.8%	0 0.0%
愛知県	2 22.2%	8 88.9%	0 0.0%
その他	32 37.2%	67 77.9%	2 2.3%



「自粛依頼中」と回答した 131 の事業者の面会の代替え措置について確認したところ下記の通りとなった。

代替え措置なし	代替え措置あり	オンライン面会	電話	手紙	その他
20	111	80	49	21	14
15.3%	84.7%	61.1%	37.4%	16.0%	10.7%



「代替え措置なし」と回答した事業者の 20 事業者のうち、15 事業者は、「一定の制限のもと、対面面会可能」としており、対面面会可能としていない 5 事業者に個別に電話にてヒアリングしたところ、緊急時等やむをえない場合は面会を認めているとのことであった。オンライン面会については、フリーコメントにて「事前予約の必要があり、設定などに手間がとられる」といったコメントも寄せられた。

また、エリアに関わらず、「自粛依頼中」と回答していない事業者でも、何らかの形で面会・来訪の自粛依頼は行われおり、「自粛依頼中」と回答している事業者でも、「原則的に面会はやむを得ない場合を除き全面禁止」とするところがあれば、「面会自粛はお願いしているが、来られた場合は、感染症予防対策を講じたい」というコメントも寄せられた。

えで、短時間で済ませていただくようお願いしている」とするところもあり、エリアに関わらず、現場での入居者・ご家族の理解度による対応の難しさがうかがわれた。

【入館時の対応について】

「一定の制限のもと、対面面会可能」と回答した 264 事業者の入館時の対応を伺ったところ、下記の通りだった。

検温	(手洗い)	アルコール消毒	マスク着用	受付簿の記入
255	(144)	253	258	247
97.3%	(55.0%)	96.6%	98.5%	94.3%

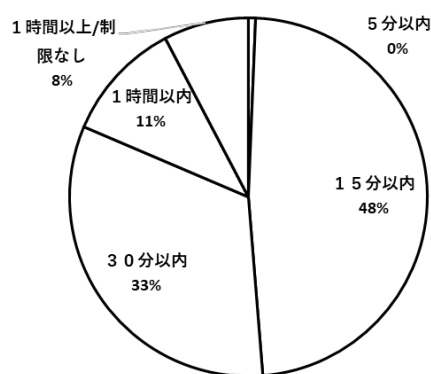
ほとんどの事業所では、検温・アルコール消毒・マスクの着用は義務付けていることが分かった。

また、受付簿の記入を求めない事業所に聞き取りをしたところ、「記録はとっており、面会者の追跡は可能」との回答だった。

【面会時間について】

多くの事業者では特にルール設定していないものと推察されるが、ルール設定を行っている事業者の半数近くが、「15 分以内」と設定しており、感染リスク軽減のため、短時間で済ませていただきたいという意識の高さがうかがえる。

5分以内	15分以内	30分以内	1時間以内	1時間以上 /制限なし	未記入
1	75	51	17	12	109
0.6%	48.1%	32.7%	10.9%	7.7%	—



※割合は未記入を除いた回答数から計算。

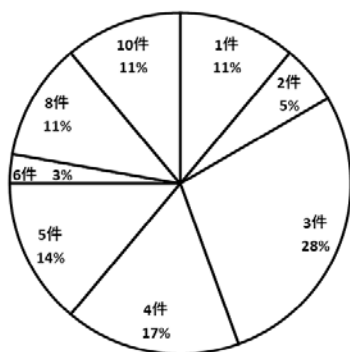
ただし、フリーコメントからは、「15 分では短いとの声が聞かれる」「時間オーバーが目立つ」といった内容も読み取れた。

【面会受け入れ件数制限について】

ホームへ受け入れる 1 日当たりの面会件数や、入居者当たりの月間の面会件数の制限については、9 割弱の事業所にて特に取り決めはないが、取り決めのあるところでは、1 日 3 件程度に制限して面会を受け入れたり、来訪を週に 1 回程度にとどめておくよう依頼するなどの対応が見られる。

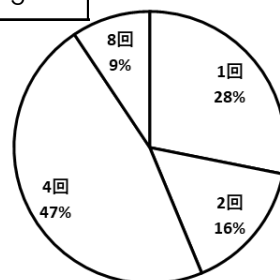
ホームでの一日受け入れ制限件数

1件	4	1.5%
2件	2	0.8%
3件	10	3.8%
4件	6	2.3%
5件	5	1.9%
6件	1	0.4%
8件	4	1.5%
10件	4	1.5%



入居者当たりの月間の面会件数

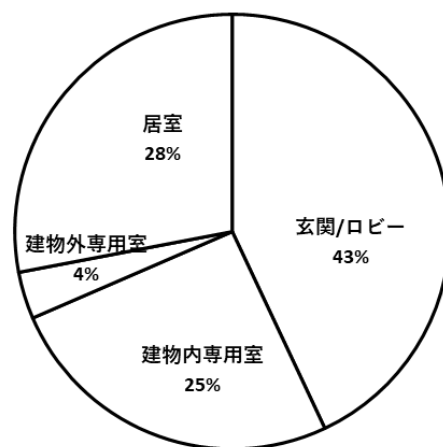
1回	9
2回	5
4回	15
8回	3



【面会場所等の制限について】

面会場所については、施設内にウイルスを持ち込ませないよう、玄関やロビーで行われることが多く、居室で面会とする事業者についても、ウイルスの持ち込みを防ぐ下記のような取り組みが見られた。

玄関 /ロビー	建物内専 用室	建物外専 用室	居室
89	52	7	56
43.6%	25.5%	3.4%	27.5%



- ・ガラス(窓)越し面会の実施
- ・来訪者にはキャップ・ガウンの着用をいただく
- ・アクリルボード等を使用し、ソーシャルディスタンスを確保
- ・事前予約制とし、面会時間を調整し、重複がないようにする
- ・共有部分への立ち入りを制限・通行ルートを設定
- ・来訪者の宿泊・飲食の禁止
- ・面会を家族・親族・身元引受人等に限定
- ・1回の面会での人数制限(2名・3名)
- ・面会可能時間を設定
- ・出入り業者・銀行営業マンなどはホーム内に入れず、玄関先で対応。
- ・県外(首都圏・都市部)からの訪問自粛(禁止)
- ・家族の居室宿泊の禁止

【フリーコメント】

(ホームの対応方針・状況)

- 解除済み。市内で新規感染者10名以上が1週間継続したら再制限予定
- 緊急事態宣言解除に伴い、ご家族とも相談し現在は制限付きで面会
- 通知文と電話連絡で対応中
- 不要不急の面会は控えていただいている
- 基本的には面会の自粛を依頼。ホームにより異なるが、必要な場合は極力短時間をお願いしている
- 7/16より一部解除予定。地元地域在住者のみ。週1回30分まで。居室面会不可。
- 解除を予定していたが、管内で新たな陽性患者が発生したため延期した。オンライン面会を検討中
- 早く以前の状態に戻してほしいとの強い希望があるが個別に話し合いを進めている。
- ご家族の理解も得られており混乱はない。
- 面会制限措置については、日常においてご家族とは諸々のことについて情報共有に努めており、当ホームの対応についてはご理解ご協力をいただいている
- 両者家族からクレームをいただく。面会制限解除しないことが悪いことのように指摘を受けるが、もう少し様子を見たいと伝えている。
- ホームのハードにより面会受け入れしているが、基本は玄関ロビーの専用スペース。家族からの面会希望は多い。夏祭りなども自粛し、ご家族が残念に思われている
- 住宅型のため洗濯物の受け渡しなどもあり、ロビーでの対応をお願いするが、短時間での面会を認めざるを得ない。
- 検温でお待たせすることがあり申し訳ない。
- 時間制限は設けているが、15分では短すぎるようで実際には30分～1時間程度面会されている。
- オンライン時でも職員がつかないといけないので手間がかかる

- 面会はプライバシーのことなどを考えると専用個室が望ましいと思うが、物理的に玄関先での対応となっており、申し訳ない
- オンライン面会を検討しているが、物品の購入費用だけでなく、人手が必要。継続実施も難しい。現状は防護服で面会いただいているがコストがかかり困難

(不安・課題)

- 張り紙等で自粛要請は行っているが、全面的な制限は困難。
- 制限することにより寄せられる家族からの問い合わせ対応に時間を要する
- 入居者・ご家族で意識差があり対応に苦慮している
- 家族からの解除要望が強く対応に困っている
- 家族が首都圏にお住まいの方が多く面会自粛要請を継続したいが、ご家族・入居者の理解を得られない。スタッフが自粛しても入居者ご家族が協力いただけずクレームとなっている。
- 東京も感染者数が減少しないので、引き続き面会制限をせざるを得ない。ご家族からは、以前のように「会いたいときに会える」ことが求められている。
- 体調変化の際などにプロセスを共有できない
- 複数名で来訪された際の待合室が確保できない
- 認知症の入居者が直接触れようとする。職員の付き添い対応により業務を圧迫する。ルールを守らないご家族もいる。
- 制限下の入居者様の心身状況が不安
- 小学生の面会(走り回る。無症状感染)対応
- 頻回の面会や、居室での食事などの長時間滞在についての対応。面会制限の方法など
- 感染症対応で現場に負荷がかかっているうえに、面会対応の管理という業務負担が生じている。現状、極力事前予約にて対応しているが、長期的な対応は厳しい。

(要望等)

- 制限解除のタイミングの判断基準が欲しい
- 国や自治体が規制緩和を行っている中で面会制限に対する根拠が弱くなっている。行政から根拠を出してほしい。
- 職員の日常生活における制限をどこまで求めるべきかわからない。
- 協会でコロナ対応の基準を作っていただきたい
- 介護等は自粛要請。健常棟は面会制限。状況に応じ対応検討。回数や制限などもう少しルールを整理したい。
- ホームにより、対応が異なる。類型や規模に応じたマニュアルや手引きを公開してほしい。
- 混合型は自立者の意思があり制限も一律単純にはいかない。他ホームの状況はぜひ知りたい。老施協の情報発信と比べ、有老協の情報提供量が少ない気がするので積極的な情報発信をお願いします。市は老施協の通知に基づく対応を勧めている。
- 新規受け入れをどうしているか知りたい
- 面会制限と見学者受け入れとの整合性が取れない。